

# あなたは「足で蹴らない」サッカーを知っていますか？

## 電動車椅子サッカーの競技と魅力

スパイクの代わりに「フットガード」と呼ばれるガードを足元に取り付けボールを蹴ります。操作はコントローラーについている「ジョイスティック」を身体の一部(指、足、顎など)で操り、直径32.5cmの大きなボールを使いサッカーを行います。

電動車椅子で魅せるプレーは想像を越えます！

国際的呼称は「Powerchair Football(パワーチェアフットボール)」と呼び、世界で親しまれているスポーツです。2017年7月にはアメリカで第3回W杯が開催されます。

コート：最大 30m × 18m(主にバスケットコートを利用)

試合人数：1チーム4名(ゴールキーパー1名含む)

試合時間：20分ハーフ(10分ハーフタイム)



フットガード(四角型)



フットガード(丸型)



ジョイスティック



右が電動車椅子サッカーボール(7号球)  
左が11人制サッカーボール(5号球)

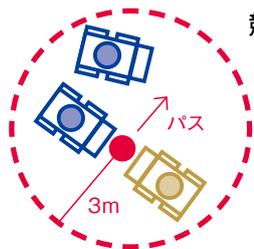
## 電動車椅子サッカーの特徴

### <2on1(トゥーオンワン)ルール>

同一チームの競技者2名と相手競技者がボールの半径3m以内におり、競技者2人目が次のようなプレーに関わっている場合に反則となります。

- 1.プレーに干渉する
- 2.その位置にいることによって利益を得る
- 3.相手競技者に干渉する

※ゴールエリア内競技者1名がゴールキーパーの場合はこの反則は適用されません。



### <最大時速6km/hと10km/hの違い>

国内大会では最大時速の設定が2つありそれぞれに見所や魅力が異なります。

**最大時速6km/h**→蹴ったボールに追いつかない：先手を読み合う「緻密な戦術」サッカー

**最大時速10km/h**→蹴ったボールに追いつく：運動量が多くフットサルに近い「ダイナミック」サッカー